



もるすみともなり 両角友成県議会報告

本会議では一般質問に立ちました

「資格確認書」は現在の保険証とほぼ同様であり、マイナ保険証と現行の保険証の双方を使用できる状況を継続すれば、医療機関・患者・発行事務を担う行政機関のためにもよいと考えるが、知事その後の見解を質しました。答弁では、「マイナ保険証は医療DXの基盤となるもので、医療の充実に関与すると考えている。県としてはマイナ保険証への移行を進め

マイナ保険証について

「資格確認書」は現在の保険証とほぼ同様であり、マイナ保険証と現行の保険証の双方を使用できる状況を継続すれば、医療機関・患者・発行事務を担う行政機関のためにもよいと考えるが、知事その後の見解を質しました。答弁では、「マイナ保険証は医療DXの基盤となるもので、医療の充実に関与すると考えている。県としてはマイナ

視覚障がい者の支援について



本会議で登壇（6月26日）

る」との事で、私からは、偽造マイナによる詐欺被害が相次いでおり、医療の個人情報漏洩や他人に利用される等、それこそ大変であり、粘り強く現行保険証を残すべきと訴え続けたいとしました。

三桁国道・県道の維持管理、整備について

冬期間に雪解け水が側溝からあふれ出て車道が凍結し、重大な事故が発生したり、大雨により道路の側溝が詰まり大量の雨水があふれ出ている。このような状態が続けば重大な災害が発生しかねないため、年間を通して側溝の維持管理が必要と指摘しました。路肩の支障木の処理について、根本的な処理がされておら

ず、交通障害が発生しています。ある建設業の方の「一番効果があり、住民から喜ばれる仕事だ」の声を紹介。支障木の伐採等が追い付いていないのは、予算か、担い手不足か、それとも双方か、現状と今後の対応方針を質しました。答弁では「枝払いや伐採により安全な通行を確保しているが、予算に限りがあり、結果的にすべての要望に応えきれない」との事でした。

国道143号の松本市会吉工区の改良工事が完了し、会吉工区と直結している青木峠バイパスの工事がこれで弾みがつき、一気に進むのではと地元住民の期待が高まっています。完成時期を含め、今後の見通しを質しました。「令和元年に事業着手し、本州中央部広域交流圏を形成する幹線道路と位置付けている。現時点で完成時期は示せないが、早期工事着手に向けて事業を進める」との答弁でした。私からは、最後に、以前は松本・上田間を毎日バスが一往復していた重要な生活道路と紹介し、今一度早期の完成を願うとしました。

農政林務委員会の報告

農政委員会

国が農政の憲法と言われる「食料・農業・農村基本法」の改定をしてしまったことを受け、長野県農業をどうするか観点で質問。改定は、食料自給率を高めることなどを目的としていたのに、そこを外し、坂本農水相に至っては「自給率が、確実に上がることを言い切ることは困難。食料の安定供給は、国内の増産ではなく安定的な輸入の促進だ」と述べている異常さを告発。長野県の食料自給率51～52%をどう100%にするか、せめて、学校のグラウンドにすると700面（700ha）に相当する田んぼを1年で減らすようなことはやめて、県内の生産の増大と備蓄に向けて、人・技術・予算・制度をきちんとすべきと質しました。



林務委員会

鳥獣害対策を取り上げ、農業被害が年間5億円に及んでいること。ハンターなど担い手が、高齢になり10年もしたらいなくなってしまうのでは。獣の埋設処理は、異臭・水源保護の観点から無理がある。と、現状を明らかにし、改善を迫りました。

最近、問題になっている、熊の出没については、せめて錯誤捕獲した熊は、人身事故も発生しており、捕殺やむなしではとしました。



松塩水道用水管理事務所・松本市上下水道局を視察（5月23日）



知事への申し入れ（6月14日）

日本共産党県議会報告

No 5 2024年8月 【2024年6月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266（直通） FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

